スマスポ 増刊号

2006年度須磨学園体育祭 アツタ

六団こころに集結！な一歩

総合優勝　3A

３－２　３－３　３－４　３－５　Ｓ１－１　Ｓ１－３

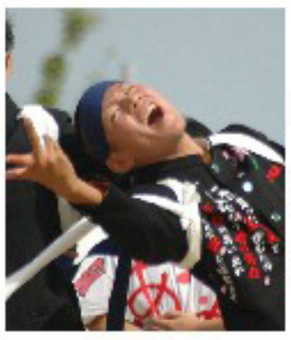
今年の須磨学園体育祭は一味違った。須磨学園中学が始まって3年。中学・高校の全学年が揃った今年は、昨年とは異なり中学・高校で団を編成し縦の繋がりを重視した。テーマは「協力」。まさしく中学・高校が協力し大成功に終わった。

応援合戦

応援合戦は、各学年、団の特色が溢れるものとなった。練習時間が1週間という短い期間だったが、休み時間や講座の合間を見て各団員が協力・団結しあい、創造以上の仕上がりになっていた。実際にグラウンドで練習が出来たのは、前日の10分かだけ。狭い教室やピロティーを使って練習を行っていたのに、本番は、どの団もグラウンドいっぱい駆け巡り、団員の創造力・団結力には驚かされた。出来は、やはり学年が上がるにつれて良かったが、後輩たちは今回の先輩たちの頑張りを見て、是非とも来年、頑張ってもらいたいです。今後は、このような形を伝統とし、受け継いでいってほいいものです。

1位　3A
2位　3B
3位　2B

３Ａ応援団長　笹倉寛史



幼稚園から数えて15回目の体育祭。そして人生最後の体育祭を最高の形で終えることができました。

３Ａのみんなを、応援団のみんな、そしてこのような素晴らしい体育祭を開催してくれた学校に本当に感謝しています。ありがとうございました。

３Ｂ応援団長　松　亮佑

僕は、高校最後の体育祭を思い出深いものにしようと思い団長に立候補しました。　やるからには応援合戦で優勝したかったので、出来るだけ早く動き出しました。途中、応援団の練習が遅くまで続くと、自分のやりたいという気持ちだけを団員に押し付けてしまっているように思うこともありましたが、本番が終わり、結果発表のあと「2位」という結果に団員の何人かが悔し涙を流すのを見て、やってよかったと思いました。初めて体育祭で泣きそうになりました。

大変なこともたくさんありましたが、とても良い経験が出来ました。団員のみんなありがとう！

２Ａ応援団長　長嶺貴浩

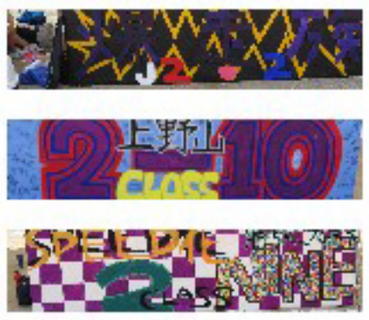
最初の団長を決める集まりで全然まとまらず、教室が講座で使えなくなってしまって場所を探している間に大半の人が帰ってしまうぐらいみんなは最初はやる気がありませんでした。その残ったメンバーで色々な事を決め次の日から練習することになりました。

練習中は、副団長や女子がうまく仕切ってくれてダンスの振り付け、エールの声など必死で猛練習をしました。朝は早くから、放課後はぎりぎりまで、部活があって予行までやっと全員が揃うことができました。そして本番直前、全員で円陣を組みました。まとまらなかったメンバーがやっとまとまった瞬間でした。そして演技が終わり素晴らしい達成感と熱い友情が私たちに降り注ぎました。

来年は絶対に優勝を・・・・・。

２Ｂ応援団長　小池祥平

僕が応援団長になったのはじゃんけんに負けたから、その時には団長が女装することが決まっており、相当落ち込んだ。最初は不安もあったけど、みんなの頑張りをみて自分も励まされました。でも当日まで失敗ばかり。そんな僕でもやり通せたのはみんなのおかげです。本当に良い経験が出来ました。ありがとう。



１Ａ応援団長　中本　希

私たち１Ａは、まとまりがなく、何かをすると言っても決して全員が集まることもありませんでした。「こんな状態で体育祭までに仕上げられるのだろうか？」ととても不安になりました。

でも、一緒に頑張ってくれた人たち、協力してくださった先生方のおかげで体育祭で踊ることができました。お世話になった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。本当に本当にありがとうございました。

１Ｂ応援団長　專野裕也

応援合戦を終えた時、僕はとにかくホッとしました。今日までの練習の中でもめたことも何度のありましたし、練習不足だったので成功できるかとにかく不安でした。でも、団員を信じて自分はとにかく大きな声を出すだけだと思い、応援合戦に臨んだ。応援を振り返ると、みんなしっかりまとまっていたし、自分でもしっかり出せたと思います。来年はもっと楽しくてかっこいい応援をしたいと思います。

発行
須磨学園高等学校
中学校
運動教育部